



てだのふあ

中川学童保育所

港区七番町4-8-16 TEL&FAX 651-5196
E-mail our.ibasyo@gmail.com
URL http://lovekids-dream.com

来週の予定

日	曜日	昼食	保育計画
27	月		なんこう曜日 ☆東海小一個人懇談会 13:35下校
28	火		子ども会議 チャレンジ！タイコ！ ■市連協-役員会
29	水		自由買い
30	木		なんこう曜日 お泊まり会実行委員会
1	金		チャレンジ！ケン玉
2	土	お弁当	単独保育ー中川開所 《持ち物》お弁当・水筒・敷物・帽子 ※お出かけ保育予定 ※リュックで
3	日		

かどりうわぶじゅせ

今度の土曜日・25日は、
単独保育・中川開所デスー

《持ち物》水筒 ※学童給食実施。お弁当不要。

★25日(土)は6月父母会ー19:45~

《各・参加確認書の提出と参加確認に、ご協力を》

昨日、父母会資料を配付しました。お手元にありますか？
配布物、そして確認アンケート等が多く申し訳ありませんが、
ご確認と対応をお願いします。

※やむを得ず父母会を欠席する場合は、事前に『運営費』と
『延長保育料』のお届けをお願いします。

※6月父母会では、お泊まり会と夏休みの生活について、
詳細にお知らせします。

' 16 · 6 · 23

6月23日はー沖縄慰霊の日ー

そして学童通信

『てだのふあ』って？

皆さんのお手元にお届けしている学童通信『てだのふあ』ー
“てだのふあ”というのは沖縄の方言で
“太陽の子”という意味です。

そしてこれは児童文学学者・灰谷健次郎氏(故人)の
著作『太陽の子』から転用しました。

人の出会い、音楽・映画・本との出会い…など、人生の中には様々な出会いがあります。そして、そんな出会いによって自分が大きく変えられることや、物の見方が大きく変わることってありますよね。私にとって灰谷文学は、そんな大きな出会いでした。

『太陽の子』の中で、主人公のふうちゃんが担任の先生にあてた手紙に

「知らなければならないことを知らないでいるような、
そんな勇気のない人間にはなりたくない…」

という一節があります。そして、ふうちゃんは勇気をもって、自分につながる人の歴史をたどって行きます。私たちの生活の中には、権力によって意図的に知らされないでいることや、歪められてしまっている事実、知らされていない歴史、そんなことが本当にたくさんあります。

私が出会う子どもたちにも、ふうちゃんのように考えることができる子に育ってほしい…。そんな願いを込めて命名しました。

もちろん、子どもたちの前に、先ずは私たちが学ばなければ、そんな視点を持たなければなりません。子どもたちは身近にいる大人に憧れをもって成長します。私たち自身が、子どもにとっての良き模倣者となりたいですね。

さて、「ありったけの地獄を集めた」(米軍報告書)という戦いで20万人を超す命が消えた沖縄戦と、その後の歴史。しかし、この沖縄のことを、お恥ずかしい話、私は名古屋に出てくるまで知りませんでした。

私が沖縄を初めて意識したのは、大学のクラスで自己紹介を行った時です。沖縄出身のクラスメートがその中で、「本土の人は…」

と、語ったときの違和感と居心地の悪さ。また、20代半ばだったでしょうか。初めて沖縄に行き南部戦跡巡りを行い、そこでこれもまた初めて入ったガマ(洞窟)で、ガイドさんの合図で参加者が一斉に懐中電灯を消すと、その瞬間 辺りは漆黒の闇に。自分自身の体すらも意識できないくらいのその暗さは、それまで経験したことのないものでした。この中で、死人もいる横で赤ちゃんからお年寄りまでが身を潜めていたとは…。このような私にとっての沖縄との出会い、今でも忘れることができません。

こうした歴史の事実、きちんと伝え受け止めて行かなければならないのに、平和憲法をないがしろにしようとしている現政権。一向に解決されない、沖縄の基地問題。そんな中で度々繰り返されている、米兵による凄惨な犯罪

今、私たちすべての大人の真価が問われていると思います。

ところで、子どもたち全員を満遍なく均等にこの通信で紹介したいという想いはあるものの、どうしてもその時々のトピックス(ドラマなど)や“旬の時”(お子さんが大きくなる時)を迎えた子どもたちの話題が中心となってしまう傾向もあり、我が子の名前が何号に渡っても見当たらない!なんてこともありますかもしれません。しかし、自分のお子さんのお名前がなくても、他の子の様子にもぜひ注目してください。学童っ子みんなを我が子のように見ていただくことができれば嬉しいです。子どもたちの成長の速度は一人一人違います。

“旬の時”は、必ずみんなに訪れます。

またこの通信では一見マイナスかとも思える、お子さんの“今”についてもお伝えします。私たちはそうしたどんなことも、子どもたちの成長に欠かすことができないものだと考えています。しかし、記載内容について皆さんの想いと私たちの想いがズレているのでは?ということを感じられた場合は、遠慮されずそのときにお知らせ下さい。

さあ、一緒に子どもたちを見守って行きましょう。

★やはり今日の読み聞かせは、これかな?

へいわって
すてまぢみ

■ 安里有生 ■ 長谷川義史

